

研究業績 英文表記

和文	
表題	看護学生の統合失調症に対する社会的距離 入学から1年半後の縦断調査結果から
著者名	石井慎一郎 ¹⁾ , 瀬戸山美和 ²⁾ , 大川内鉄二 ³⁾
所属	栃木県 自治医科大学看護学部 ¹⁾ 福岡県 福岡医療専門学校看護科 ²⁾ 佐賀県 武雄看護リハビリテーション学校看護学科 ³⁾
英文	
Title	
Author	
Affiliation	
Abstract	<p>本研究は、看護学生の入学後の生活背景と統合失調症に対する社会的距離の変化を縦断調査によって明らかにすることを目的とした。本稿では、入学時から1年半後までの計4時点における変化を明らかにする。2015年度に入学した学生43名に無記名自記式質問紙を配布し、計4時点（入学時・入学半年後・入学1年後・入学1年半後）の統合失調症の社会的距離尺度（The Japanese language version of Social Distance Scale : SDSJ）を測定した。その結果、SDSJ5項目の合計得点±標準偏差は、4時点の順に、4.38±2.78, 4.88±2.44, 5.18±2.22, 4.67±2.70であり、4時点におけるSDSJに有意な差はみられなかった。アルバイトする学生は入学半年後には一時的に減少するが、1年半後には入学時と同等の割合となっており、単身生活者は入学後に増加傾向であった。入学半年後から1年は基礎的看護技術習得のための期間であり、入学後初めての臨地実習に向けた準備期間である。すなわち、約半数の学生は単身生活を送りながら、学習進度に応じて自己学習の時間を確保しているとも考えられる。また、SDSJ得点は、入学1年後に概ね上昇するものの4時点間に有意な差は見られなかった。</p>
keyword	看護学生 統合失調症の社会的距離 縦断調査

※本データの英文表記は実際の論文上の表記とは異なります。